

2026年11月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年4月3日

上場会社名 株式会社オプトエレクトロニクス 上場取引所 東
 コード番号 6664 URL <https://www.opto.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 野々垣 龍哉
 問合せ先責任者 (役職名) 社長付管理部長 (氏名) 庭井 貴治 TEL 048 (446) 1181
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無：無
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年11月期第1四半期の連結業績（2025年12月1日～2026年2月28日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年11月期第1四半期	1,404	△16.2	△156	—	△261	—	△262	—
2025年11月期第1四半期	1,675	7.2	△97	—	△53	—	△72	—

(注) 包括利益 2026年11月期第1四半期 41百万円 (△80.7%) 2025年11月期第1四半期 216百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年11月期第1四半期	△23.08	—
2025年11月期第1四半期	△11.71	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年11月期第1四半期	13,139	7,619	58.0
2025年11月期	11,346	5,169	45.6

(参考) 自己資本 2026年11月期第1四半期 7,619百万円 2025年11月期 5,169百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年11月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2026年11月期	—	—	—	—	—
2026年11月期（予想）	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年11月期の連結業績予想（2025年12月1日～2026年11月30日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年11月期1Q	15,000,000株	2025年11月期	6,578,000株
② 期末自己株式数	2026年11月期1Q	－株	2025年11月期	400,048株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年11月期1Q	11,373,158株	2025年11月期1Q	6,177,952株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。また、実際の業績は業況の変化等により大きく異なる可能性があります。当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(セグメント情報等の注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間(2025年12月1日～2026年2月28日)における当社グループは、前年同期比にて減収、営業損失、経常損失、親会社株主に帰属する四半期純損失のいずれも損失額が拡大しました。自動認識業界の世界的な状況としては、部品価格が上昇する一方、顧客の設備投資の抑制等により需要が減少していること等から、厳しい状況が続いております。当社グループにおいて、前連結会計年度においては国内の一部顧客から受注が入り始めるなど、主要顧客の在庫調整に改善の兆しが見られる状況となっておりますが、当第1四半期連結会計期間においては大口顧客の納入延期等が発生しました。

売上高は、14億4百万円(前年同期比16.2%減)となりました。

セグメントの内訳は、日本では6億54百万円(前年同期比12.1%減)、米国では1億98百万円(前年同期比41.5%減)、欧州・アジア他では5億50百万円(前年同期比6.6%減)となりました。

日本国内においては、大口顧客の納入延期等により、売上減となりました。

米国及び欧州・アジア他においては、業界不況のあおりを受け、特に米国では主要顧客の納入延期等により、売上は大幅減となりました。

利益面では、営業損失が1億56百万円(前年同期は97百万円の営業損失)となりました。主な要因は、コスト削減等により販売費及び一般管理費が35百万円減少した一方、原材料価格上昇による粗利減少により売上総利益が95百万円減少したことなどによるものです。

また、経常損失は2億61百万円(前年同期は53百万円の経常損失)、親会社株主に帰属する四半期純損失は2億62百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失72百万円)となりました。主な要因は、2026年1月7日に払込が完了した第三者割当による新株式の発行及び自己株式の処分に伴う株式交付費31百万円を営業外費用に計上したこと、為替相場の変動に伴う為替差損72百万円を営業外費用に計上したこと、為替差損益が計1億15百万円悪化したことによるものです。

なお、当第1四半期連結累計期間においての為替レートは、1ドル=155.76円、1ユーロ=181.41円で算出しております。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は131億39百万円となり、前連結会計年度末と比較して17億92百万円増加いたしました。主な要因は、第三者割当による払込等による現金及び預金の増加20億17百万円等により、流動資産合計が18億3百万円増加したことによるものです。

負債は55億19百万円となり、前連結会計年度末と比較して6億57百万円減少いたしました。主な要因は、1年内返済予定の長期借入金の減少1億20百万円等により、流動負債合計が2億32百万円減少したこと、長期借入金の減少4億25百万円等により、固定負債合計が4億24百万円減少したことによるものです。

なお、純資産は76億19百万円となり、前連結会計年度末と比較して24億50百万円増加いたしました。主な要因は、第三者割当による新株式の発行及び自己株式の処分により、資本金及び資本剰余金がそれぞれ11億23百万円増加し、自己株式が2億12百万円減少したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は、2026年1月14日に公表いたしました「2025年11月期 決算短信」において、2026年11月期通期の連結業績予想開示を見送らせていただきました。2026年2月26日に開催いたしました定時株主総会后、当社は新たな経営体制の下で事業計画を見直しているところであり、今後、事業計画見直しにより、通期の業績予想の開示が可能となった段階で、速やかに開示する予定であります。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、2025年11月期において、3期連続で営業損失、経常損失、親会社株主に帰属する当期純損失を計上しております。また、一方で、この間の営業キャッシュ・フローは2024年11月期まで2期連続でマイナスを計上しておりましたが、2025年11月期は僅かながらプラスに転じました。また、一部の取引金融機関からの借入金については、現時点では期限の利益の喪失に係る条項を適用する旨の通知を受けていないものの、財務制限条項に抵触しております。当該事象により、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせる事象又は状況が存在しております。

当該状況を解消するため当社グループは、以下の対応策を実施しております。

- ①業務人員の縮小、賞与削減による人件費及びその他経費削減
- ②製造コスト低減した新製品開発及び販売による売上総利益率の改善
- ③売値上げによる売上総利益率の改善

また、資金繰りについては、現金及び預金残高は5,752,266千円と十分であることに加え、各取引金融機関には上記対応策の実施に関する説明と進捗に関する適時の報告を実施し、各取引金融機関とは良好な関係を維持しており、今後1年間の資金繰りに懸念はないと判断しております。

以上のことから、継続企業の前提に関して重要な不確実性は認められないと判断しております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年11月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,734,650	5,752,266
受取手形	510	—
電子記録債権	734,821	557,531
売掛金	1,081,376	761,870
有価証券	—	313,766
商品及び製品	1,494,377	1,535,776
仕掛品	149,155	147,662
原材料及び貯蔵品	1,204,752	1,222,534
その他	350,560	267,313
貸倒引当金	△23,156	△28,293
流動資産合計	8,727,047	10,530,427
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物 (純額)	1,274,827	1,263,240
機械装置及び運搬具 (純額)	200,229	190,755
工具、器具及び備品 (純額)	117,123	112,672
土地	554,178	554,178
リース資産 (純額)	1,004	853
建設仮勘定	50,814	64,848
有形固定資産合計	2,198,179	2,186,549
無形固定資産		
その他	263,634	260,712
無形固定資産合計	263,634	260,712
投資その他の資産		
投資有価証券	9,901	11,698
繰延税金資産	4,770	6,325
その他	143,014	143,647
投資その他の資産合計	157,686	161,671
固定資産合計	2,619,500	2,608,934
資産合計	11,346,548	13,139,361

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年11月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年2月28日)
負債の部		
流動負債		
電子記録債務	135,865	113,656
買掛金	215,847	356,720
短期借入金	120,018	—
1年内返済予定の長期借入金	2,426,652	2,305,960
未払法人税等	29,875	22,478
賞与引当金	—	23,531
その他	485,258	358,873
流動負債合計	3,413,517	3,181,219
固定負債		
長期借入金	2,715,767	2,290,368
リース債務	499	314
繰延税金負債	30,878	31,625
その他	16,174	16,042
固定負債合計	2,763,319	2,338,349
負債合計	6,176,836	5,519,569
純資産の部		
株主資本		
資本金	942,415	2,066,244
資本剰余金	219,136	1,342,965
利益剰余金	2,640,888	2,326,738
自己株式	△212,442	—
株主資本合計	3,589,997	5,735,948
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,402	5,702
為替換算調整勘定	1,573,310	1,878,141
その他の包括利益累計額合計	1,579,713	1,883,844
純資産合計	5,169,711	7,619,792
負債純資産合計	11,346,548	13,139,361

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年12月1日 至 2025年2月28日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年12月1日 至 2026年2月28日)
売上高	1,675,262	1,404,554
売上原価	1,059,262	884,400
売上総利益	615,999	520,154
販売費及び一般管理費	713,042	677,067
営業損失(△)	△97,042	△156,913
営業外収益		
受取利息	12,695	13,872
為替差益	42,739	—
受取賃貸料	3,877	617
その他	154	140
営業外収益合計	59,467	14,631
営業外費用		
支払利息	15,686	15,378
株式交付費	—	31,630
為替差損	—	72,274
固定資産除却損	118	0
その他	0	62
営業外費用合計	15,805	119,346
経常損失(△)	△53,380	△261,628
税金等調整前四半期純損失(△)	△53,380	△261,628
法人税、住民税及び事業税	11,897	4,166
法人税等調整額	7,058	△3,326
法人税等合計	18,956	839
四半期純損失(△)	△72,337	△262,468
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△72,337	△262,468

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年12月1日 至 2025年2月28日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年12月1日 至 2026年2月28日)
四半期純損失(△)	△72,337	△262,468
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△481	△700
為替換算調整勘定	288,956	304,830
その他の包括利益合計	288,475	304,130
四半期包括利益	216,137	41,661
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	216,137	41,661

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自 2024年12月1日 至 2025年2月28日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	日本	米国	欧州・アジア 他	合計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	745,178	340,334	589,749	1,675,262	—	1,675,262
(1) 外部顧客への売上高	745,178	340,334	589,749	1,675,262	—	1,675,262
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	165,639	1,672	—	167,312	△167,312	—
計	910,818	342,006	589,749	1,842,574	△167,312	1,675,262
セグメント利益又は損失（△）	13,315	△73,073	△48,487	△108,245	11,202	△97,042

（注）1. セグメント利益又は損失（△）の調整額は、セグメント間の取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間（自 2025年12月1日 至 2026年2月28日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	日本	米国	欧州・アジア 他	合計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	654,803	198,974	550,776	1,404,554	—	1,404,554
(1) 外部顧客への売上高	654,803	198,974	550,776	1,404,554	—	1,404,554
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	225,818	168	—	225,986	△225,986	—
計	880,621	199,142	550,776	1,630,541	△225,986	1,404,554
セグメント利益又は損失（△）	11,104	△89,138	△72,314	△150,348	△6,565	△156,913

（注）1. セグメント利益又は損失（△）の調整額は、セグメント間の取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2025年11月28日開催の取締役会決議に基づき、2026年1月6日付で自己株式の消却を実施し、当第1四半期連結累計期間において利益剰余金及び自己株式がそれぞれ51,681千円減少しております。また、2026年1月7日を払込期日とする第三者割当による新株式の発行及び自己株式の処分により、当第1四半期連結累計期間において資本金及び資本剰余金がそれぞれ1,123,829千円増加し、自己株式が160,760千円減少しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間末において資本金が2,066,244千円、資本剰余金が1,342,965千円、利益剰余金が2,326,738千円となっております。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年12月1日 至 2025年2月28日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年12月1日 至 2026年2月28日)
減価償却費	37,306千円	35,718千円